第２回よさのみらい会議

2022.09.25 [SUN] 10:00- / 14:00- ｜知遊館

与謝野町
YOSANO

本日の時間割

10:00-10:05　主催者あいさつ

10:05-10:15　よさのみらい会議について

10:15-10:25　まちの現状について

10:25-10:35　ワークショップの進め方について

10:35-11:55　ワークショップ

11:55-11:58　今後の予定

11:58-12:00　記念撮影

本日の時間割

14:00-14:05　主催者あいさつ

14:05-14:15　よさのみらい会議について

14:15-14:25　まちの現状について

14:25-14:35　ワークショップの進め方について

14:35-15:55　ワークショップ

15:55-15:58　今後の予定

15:58-16:00　記念撮影

主催者あいさつ

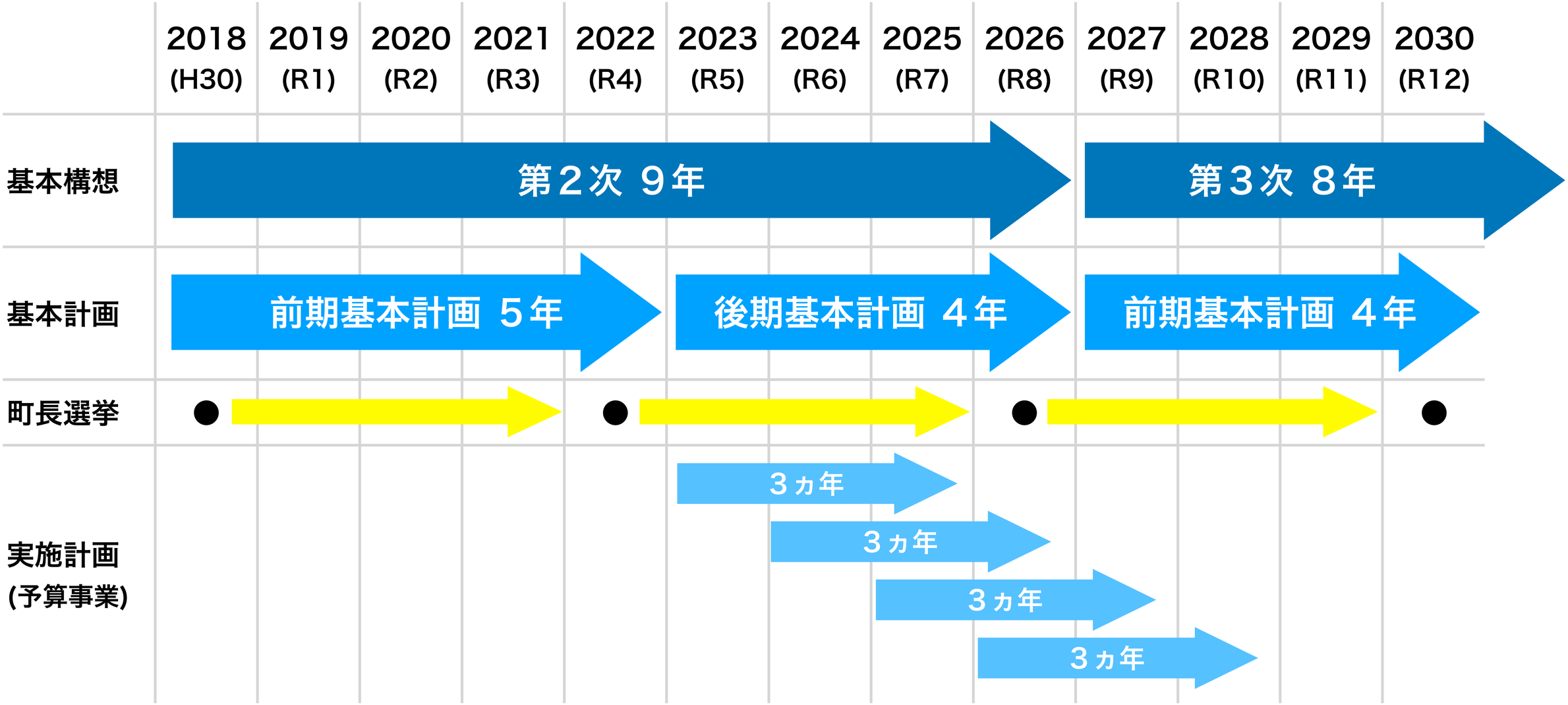
よさのみらい会議について

総合計画とは

町の最上位計画

（与謝野町総合計画条例第３条）

総合計画の期間


2018 (H30)
2019 (R1)
2020 (R2)
2021 (R3)
2022 (R4)
2023 (R5)
2024 (R6)
2025 (R7)
2026 (R8)
2027 (R9)
2028 (R10)
2029 (R11)
2030 (R12)
基本構想
第２次 ９年
第３次 ８年
基本計画
前期基本計画 ５年
後期基本計画 ４年
前期基本計画 ４年
町長選挙
実施計画
(予算事業)
３カ年
３カ年
３カ年
３カ年

第２次総合計画策定時に想定した未来

2040年

第２次総合計画策定に参加した町民

延べ2,000人

人・自然・伝統
与謝野で織りなす
新たな未来

基本構想｜まちづくりの基本理念

みんな × **みらい** × **みえる**

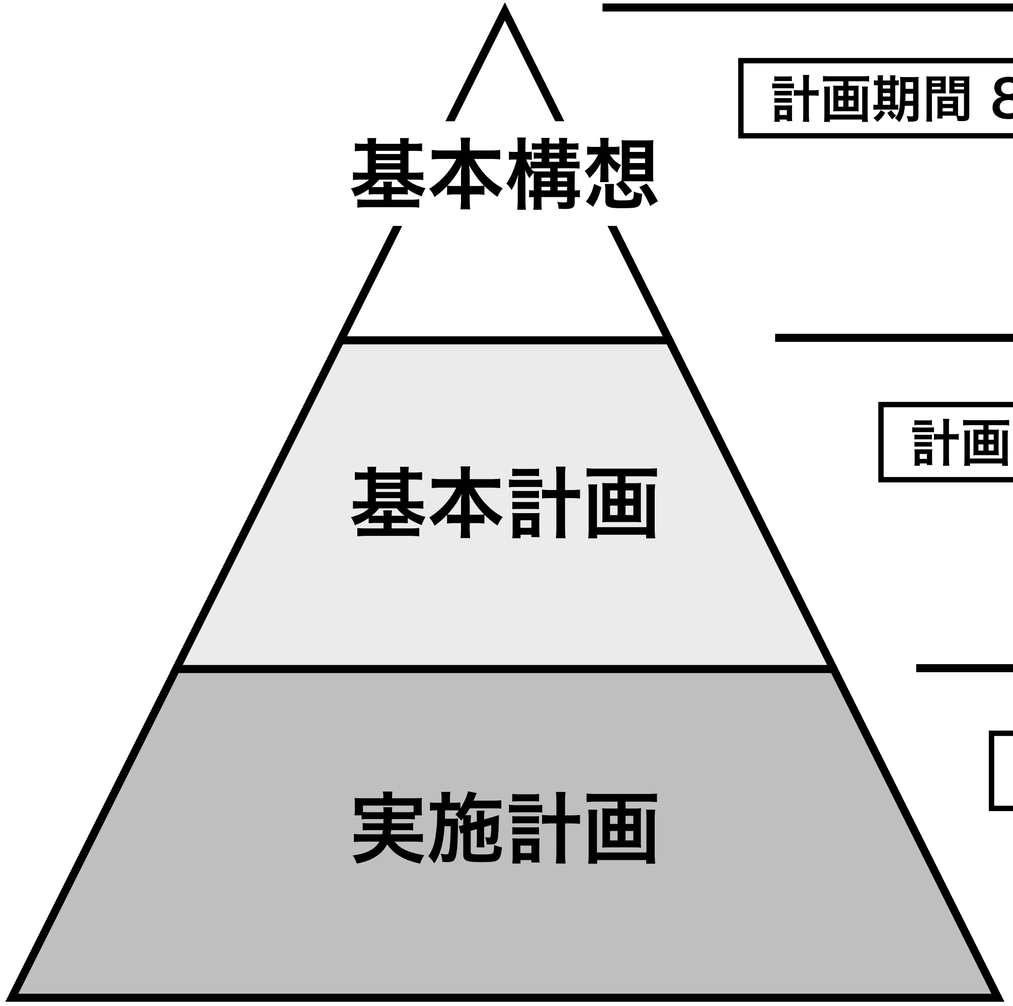
与謝野町に暮らす
「みんな」の手で

今を生きるわたしたちが
未来を創造し、将来世代
のためにも未来志向で

ヒト・モノ・カネ・情報
などまちの資源や動きを
みえる化し

3つの“み”によるまちづくり

総合計画の構成



計画期間 8年

まちの未来像やまちづくりの基本理念、未来を実現するための基本的な考えや方針を分野別に示したもの

計画期間 4年

基本構想に示す未来像を実現するための施策を体系的に示し、その取り組み内容を記載したもの

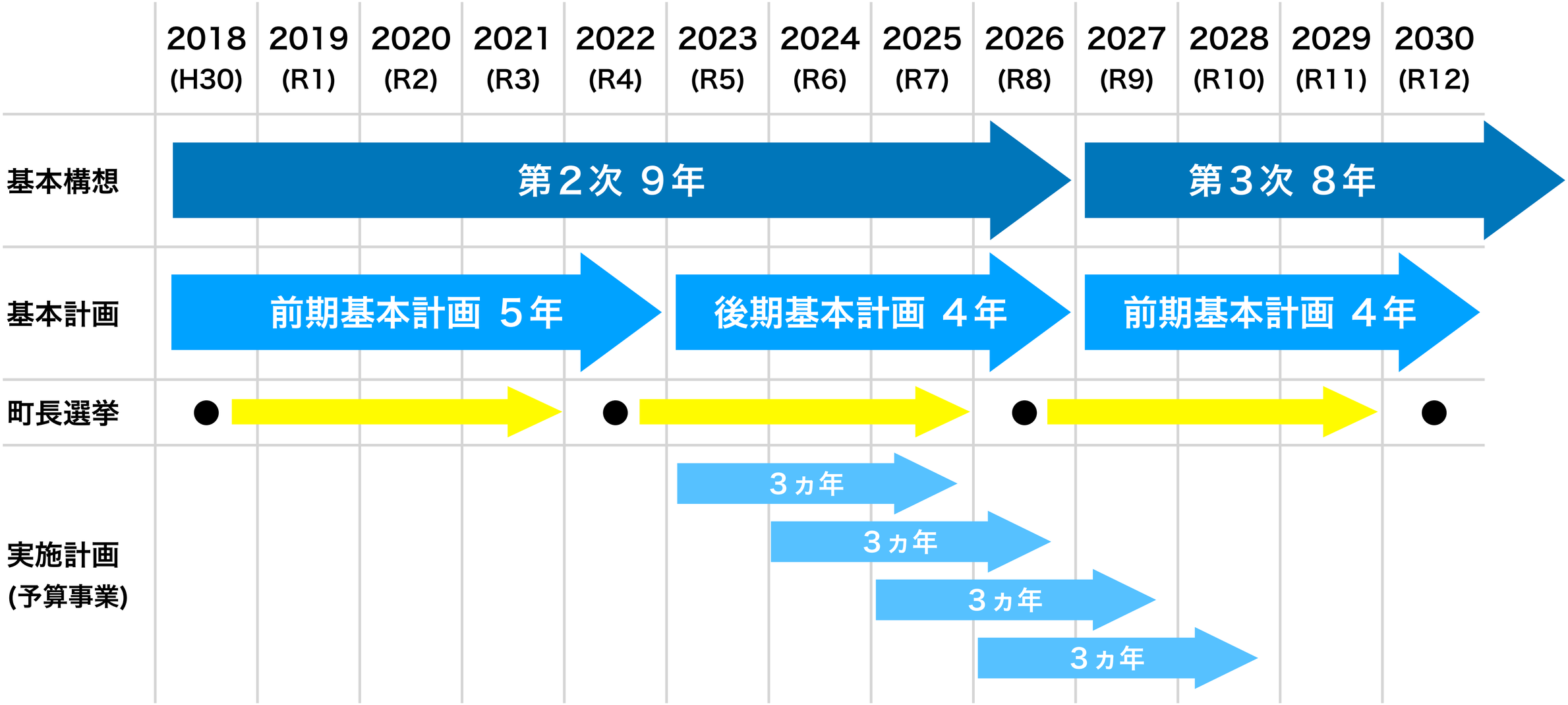
計画期間 3年

基本計画で定めた施策の優先度や財源、社会情勢を勘案し、実効性のある計画として定めるもの

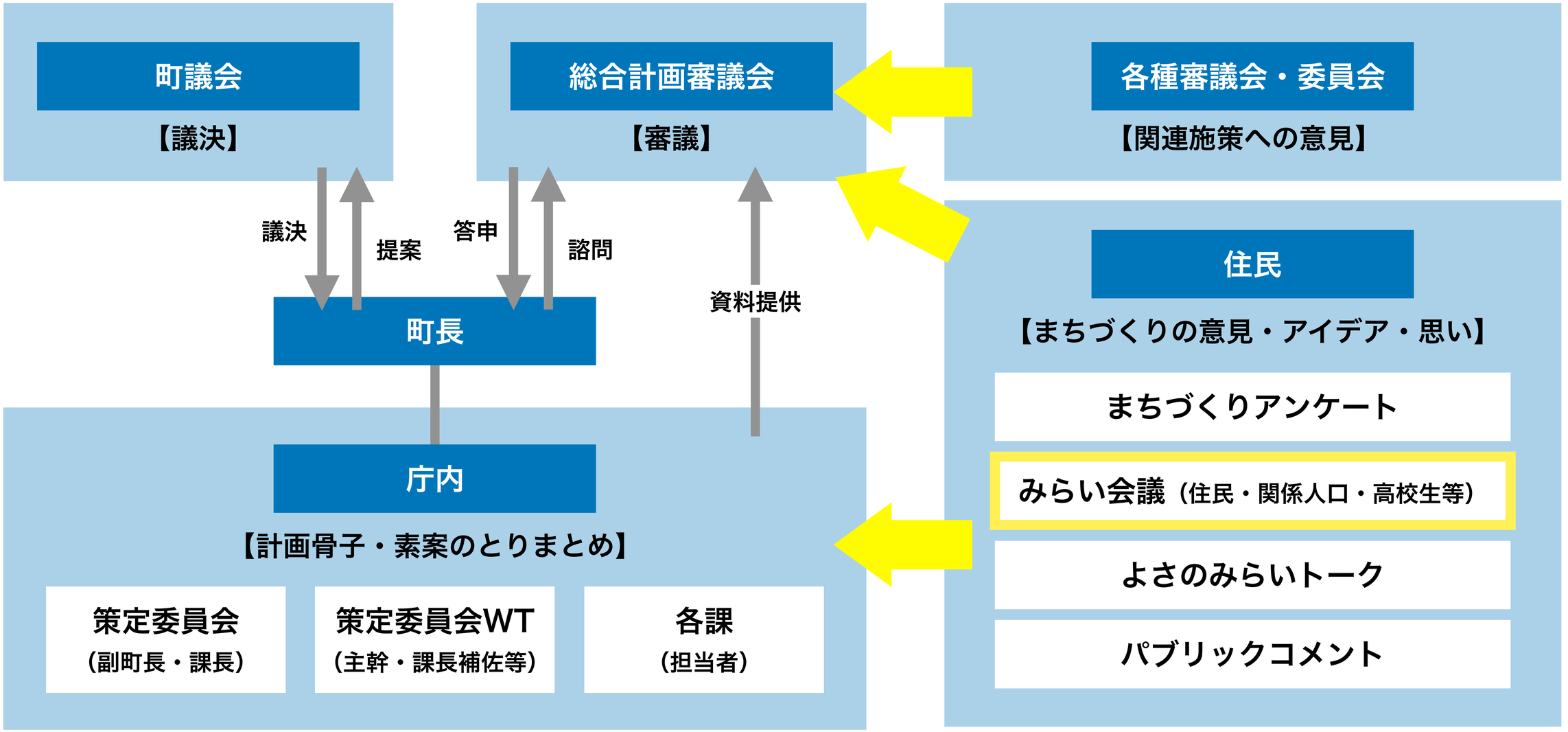
基本計画｜分野別方針

1. 一人ひとりが個性を活かし安心して働けるまち　産業　雇用
2. 地元を誇りに想い、人の流れを生むまち　移住定住　観光　交流
3. みんなが自分らしく幸せに生きるまち　健康　福祉
4. つながりで笑顔を未来につむぐまち　結婚　出産　子育て
5. 魅力ある教育が活力ある人や地域を創るまち　教育　文化　スポーツ
6. 美しくて住みやすい安心安全なまち　自然環境　生活環境　防犯　防災
7. 住民が主人公となるまち　協働　コミュニティ　行財政

総合計画の期間


2018 (H30)
2019 (R1)
2020 (R2)
2021 (R3)
2022 (R4)
2023 (R5)
2024 (R6)
2025 (R7)
2026 (R8)
2027 (R9)
2028 (R10)
2029 (R11)
2030 (R12)
基本構想
第２次 ９年
第３次 ８年
基本計画
前期基本計画 ５年
後期基本計画 ４年
前期基本計画 ４年
町長選挙
実施計画
(予算事業)
３カ年
３カ年
３カ年
３カ年

よさのみらい会議の位置付け



よさのみらい会議の目的

住民の皆さんの声を
第2次総合計画に
反映すること

よさのみらい会議の目的

住民の皆さん同士の新たな出会いの場をつくること

後期基本計画（分野別計画）完成イメージ



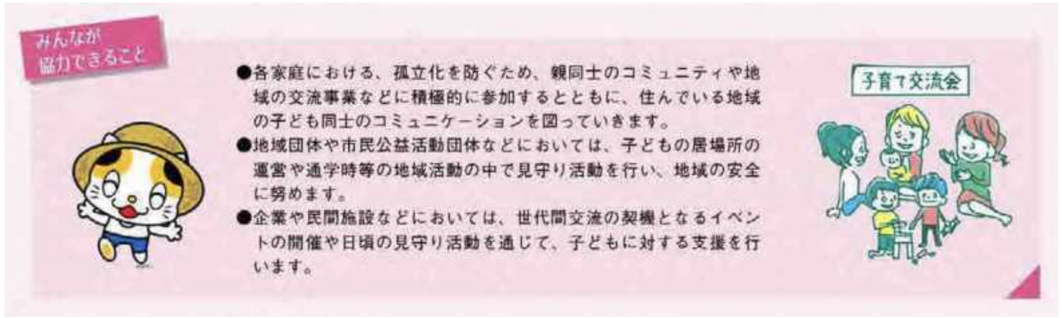
出典：宮城県利府町総合計画

みらい会議のゴール（総合計画への反映の仕方）

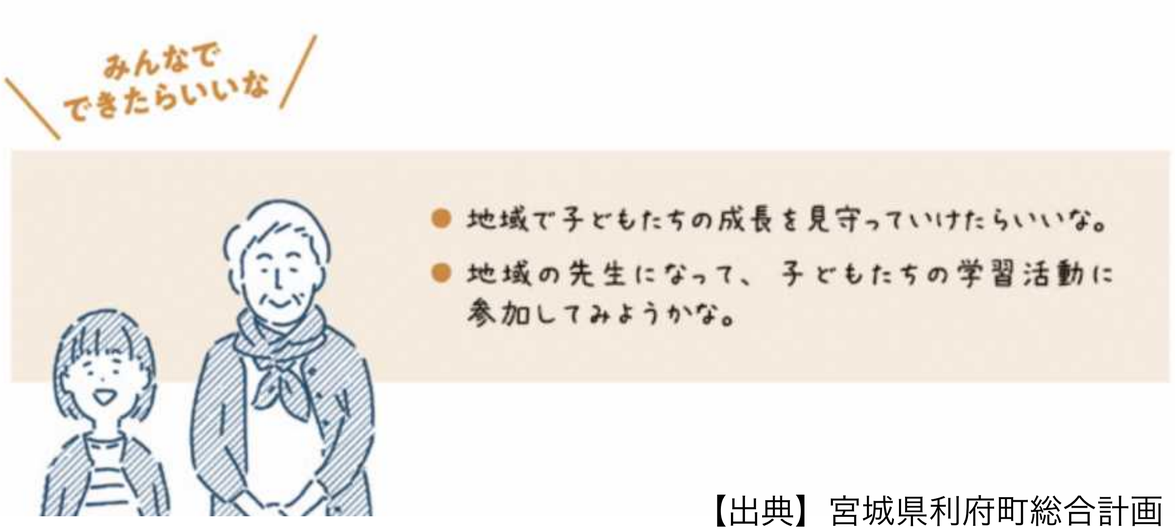
① 分野別計画見直しの参考意見とします

② 住民の実践例として計画に掲載します

掲載例



【出典】大阪府門真市第6次総合計画



【出典】宮城県利府町総合計画

まちの現状について

人口動態｜将来推計人口

2010年

23,454人

→

2020年

20,107人

10年間で約3,300人減

人口動態｜転入・転出の推移

年間平均

330人減

2010→2020

165人減

自然増減

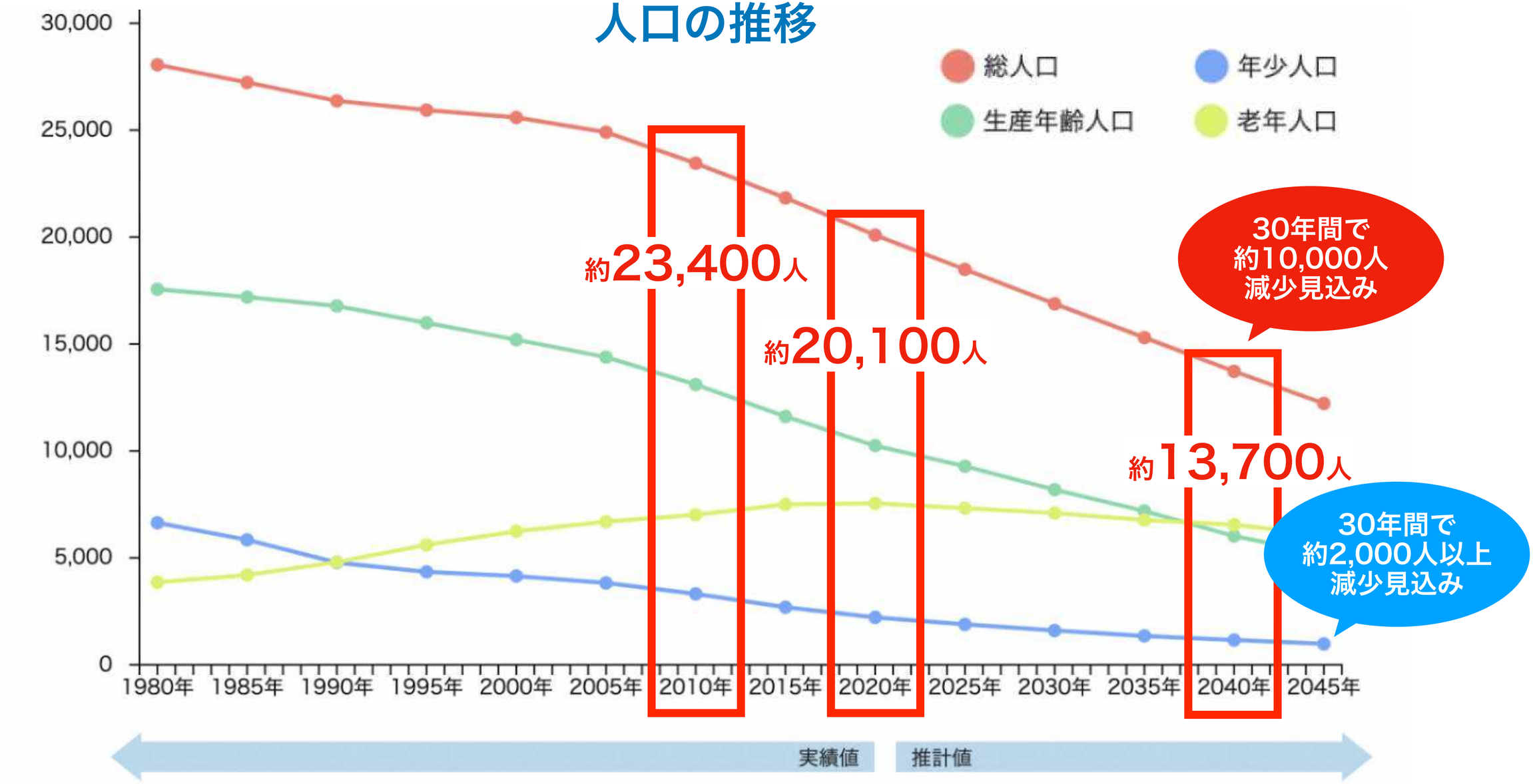
出生数 − 死亡数

165人減

社会増減

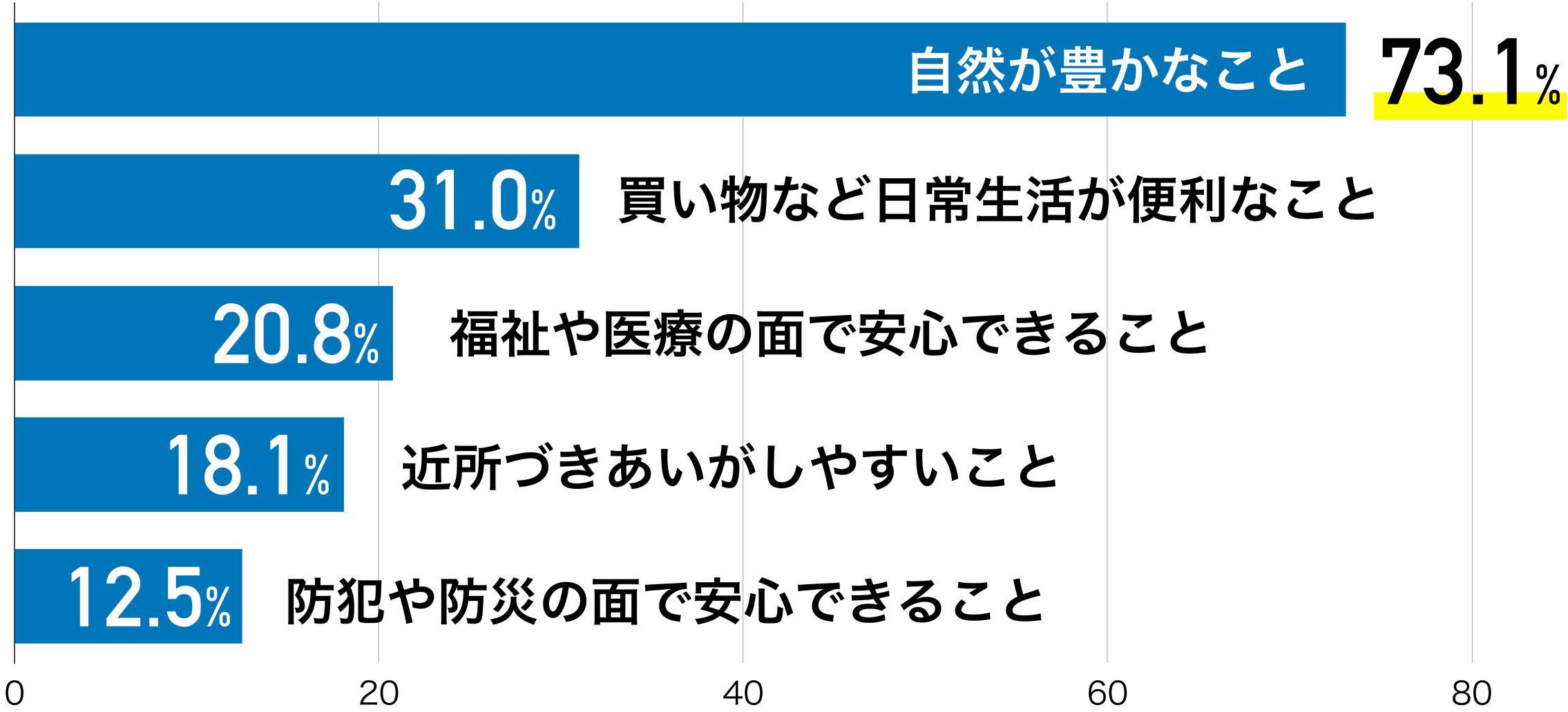
転入数 − 転出数

人口の推移

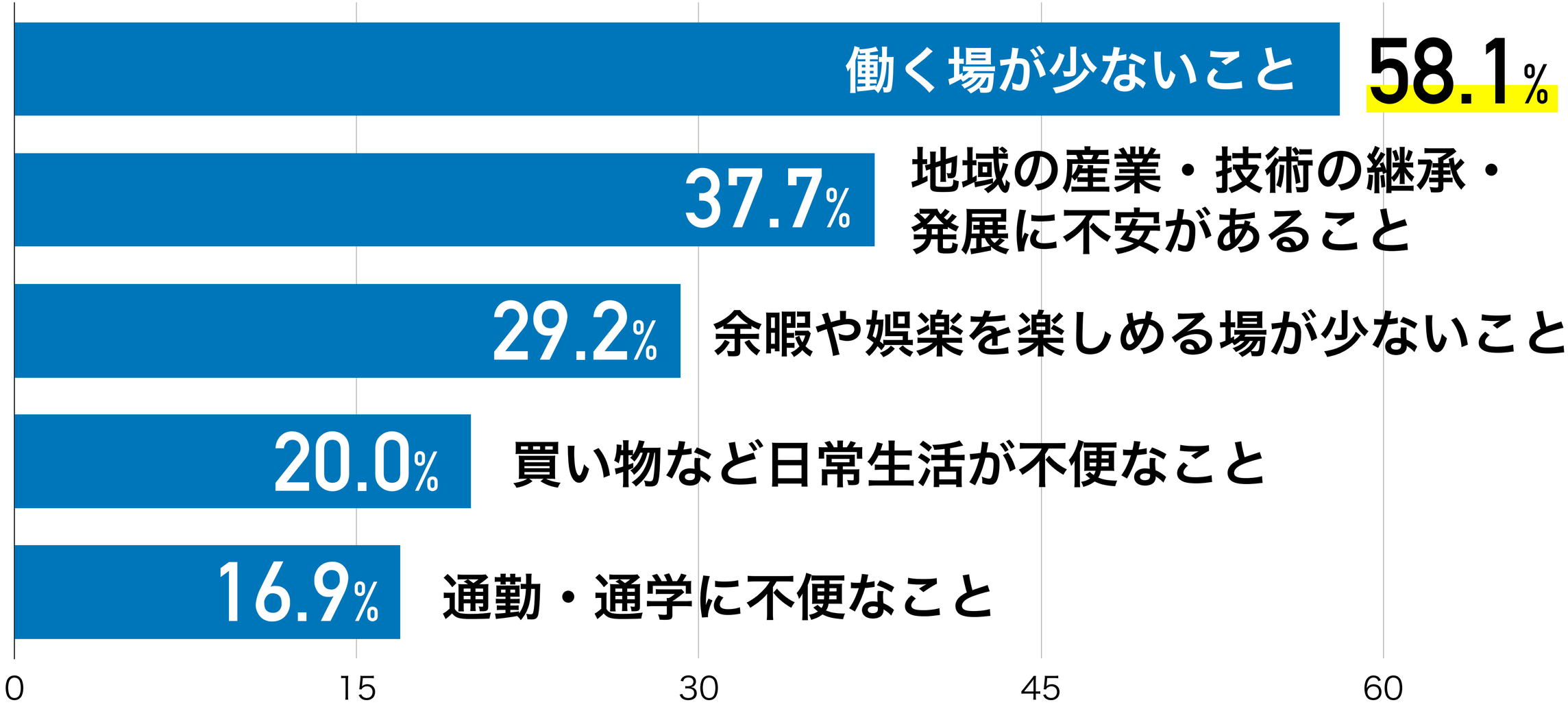


【出典】総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

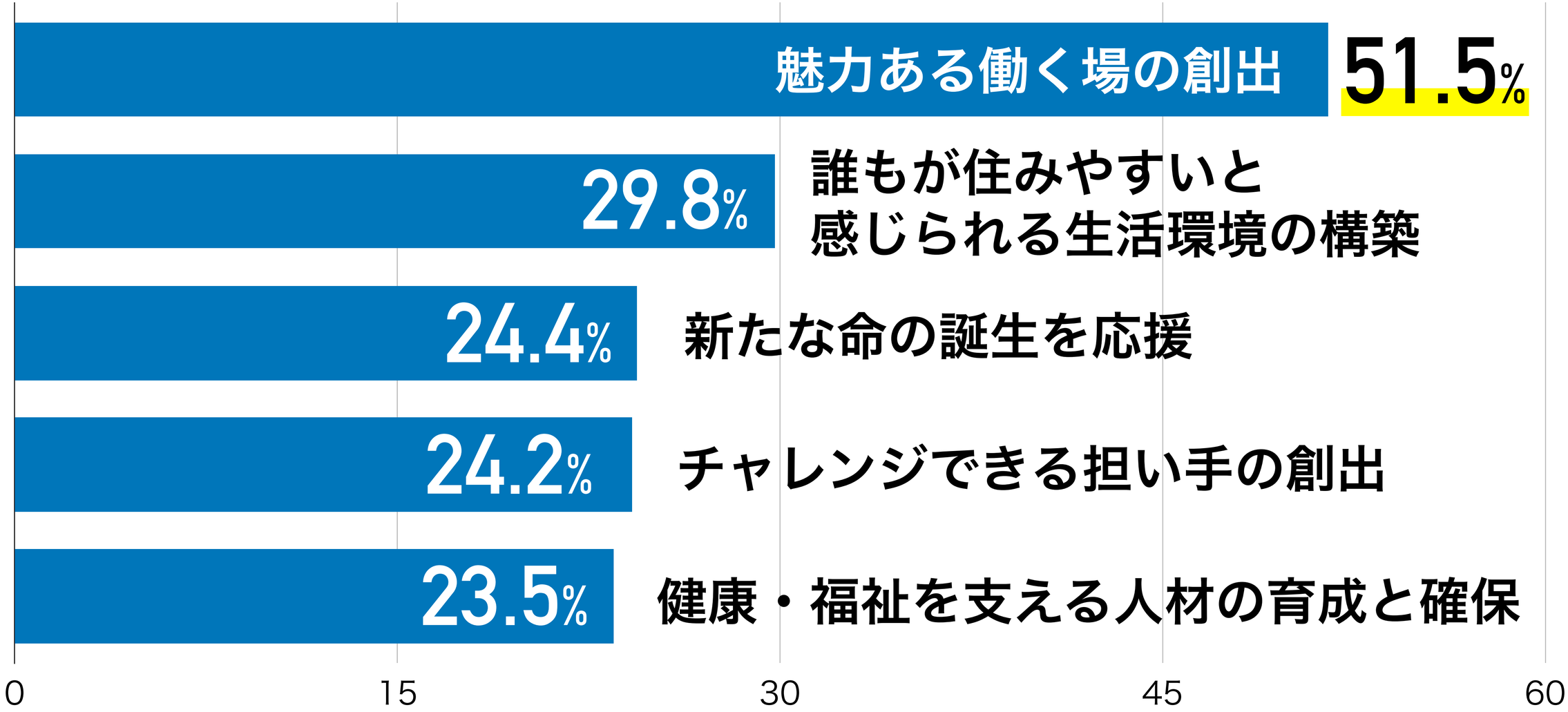
与謝野町の良いところ【トップ５】（R4まちづくりアンケート結果速報）



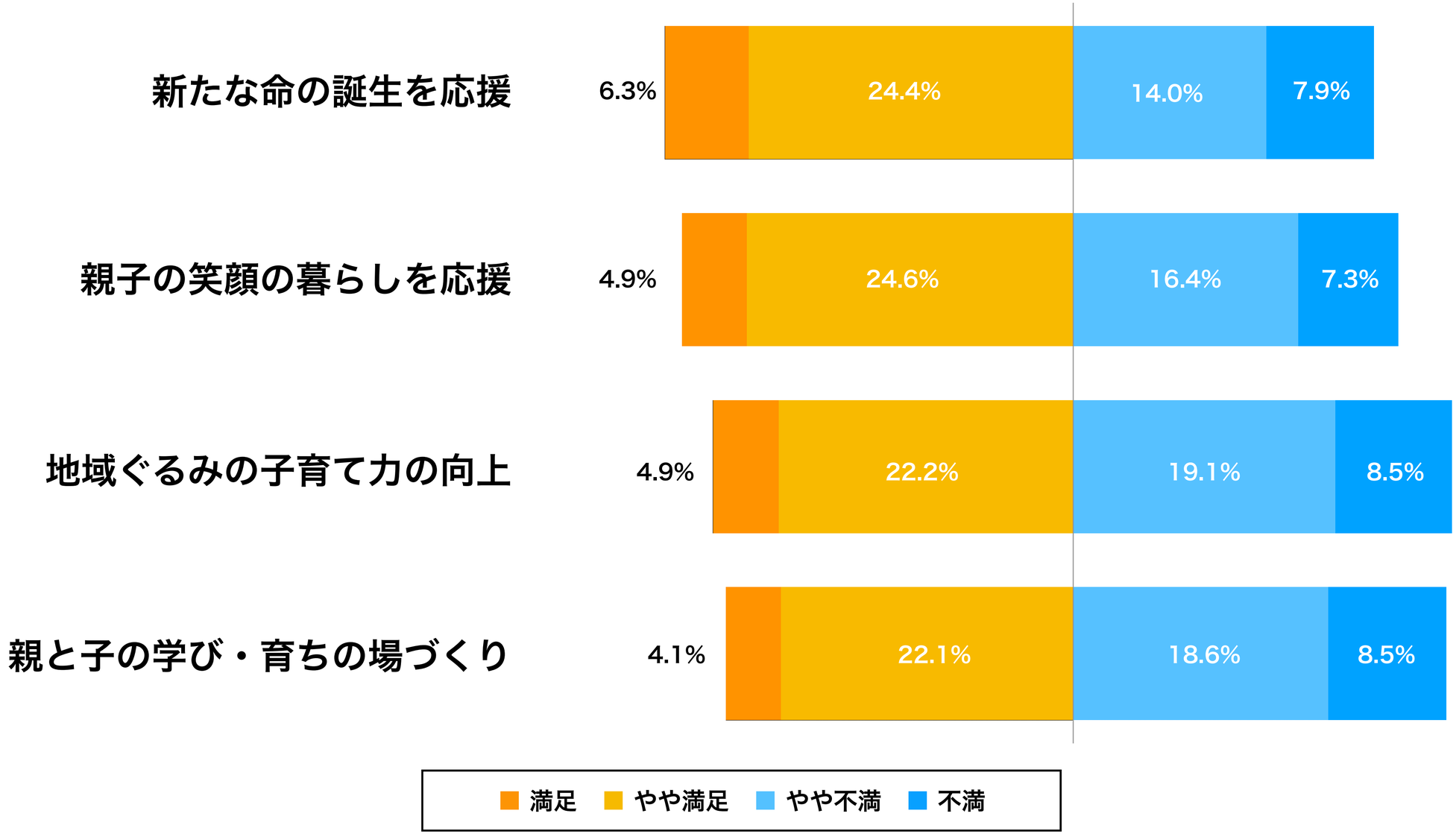
与謝野町の気になるところ【トップ５】（R4まちづくりアンケート結果速報）



未来を見据え特に力をいれるべき施策【トップ５】（R4まちづくりアンケート結果速報）



まちづくりの満足度【分野４｜つながりで笑顔を未来につむぐまち】（R4まちづくりアンケート結果速報）



ワークショップの進め方について

大切にしたいこと

~~議論~~ → 対話

多様な価値観を
共有しましょう！

グランドルール

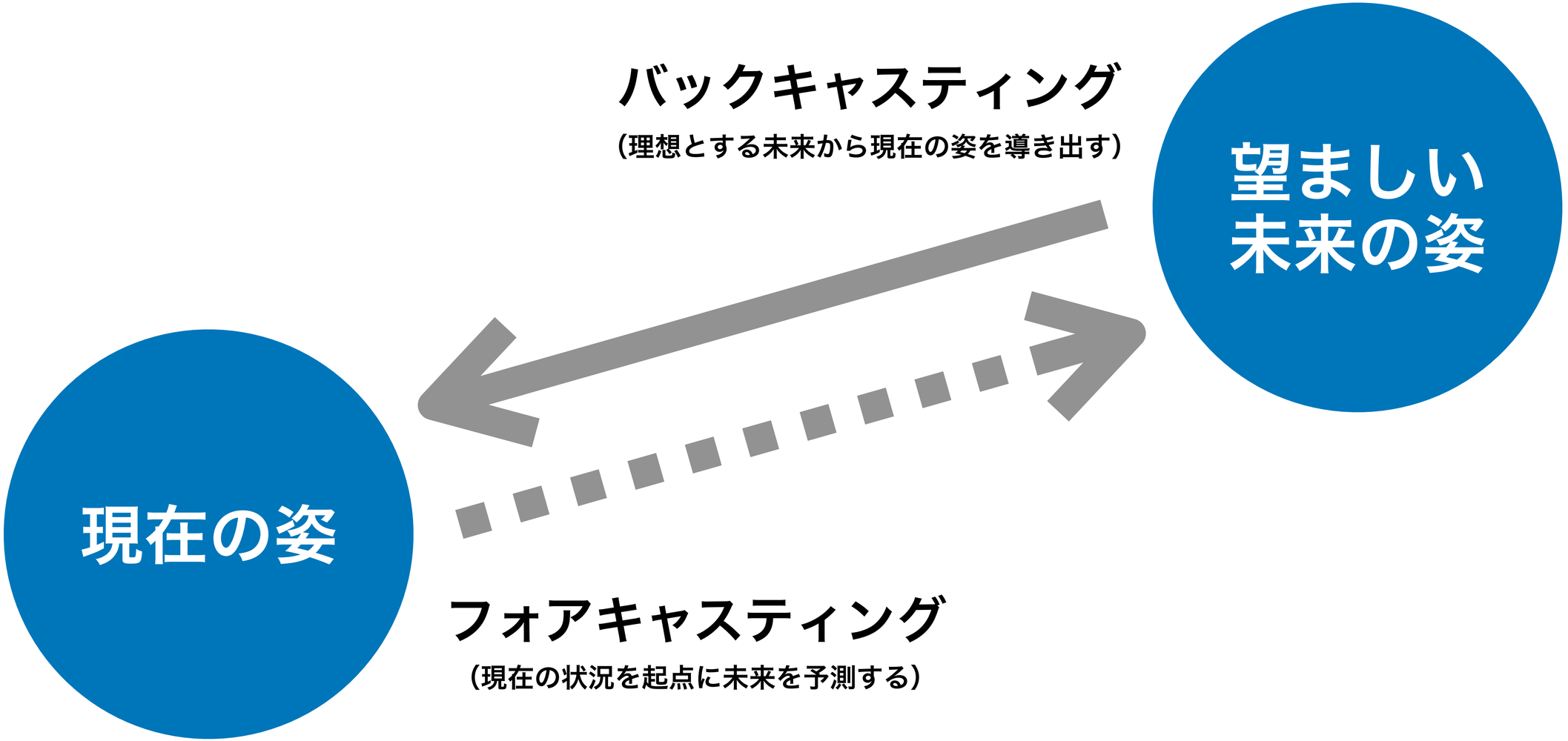
1. 立場は対等（さん付けで）
2. 人の話をさえぎらない、
   否定しない
3. 話し過ぎない

対話のポイント❶

未来思考

で考えてみましょう

未来志向とは


バックキャスティング
（理想とする未来から現在の姿を導き出す）
望ましい
未来の姿
現在の姿
フォアキャスティング
（現在の状況を起点に未来を予測する）

対話のポイント❸

自分ごと

として考えてみましょう

ワークショップの進め方（時間配分）

1. 自己紹介【チェックイン】（15分）
2. 対話① まちの子育て施策の現状（10分）
3. 対話② テーマを深める（30分）
4. グループ移動【気づきを得る】（10分）
5. 元のグループで対話【気づきの共有】（10分）
6. グループ発表（5分）

自己紹介シート

名前	今の気持ち
最近 嬉しかったこと	与謝野町の秋 ここがおすすめ！

論点整理【分野４｜つながりで笑顔を未来につむぐまち】

課題（前期基本計画時点）

- 未婚・晩婚・離婚増加傾向
- 子育て家庭と地域のつながりの希薄化
- 孤立する子育て家庭増加
- 働き方に応じた子育て環境を求める声への対応

展開した施策

- 新たな命の誕生を応援
- 親子の笑顔の暮らしを応援
- 地域ぐるみの子育て力の向上
- 親と子の学び・育ちの場づくり

主な成果

- 安心して子どもを生み育てられる環境構築
  - 子育て世代包括支援センター
  - 産後リフレッシュ事業
  - ハローベビープロジェクト
  - 特定不妊治療費交通費助成
- 子育てサービス充実
  - 認定こども園開演
  - 早朝保育
  - 病児保育
- 地域主体の子育てサービス開始
  - キッズステーション事業

新たな課題

- 父親の育児休業取得率低い
- 野田川地域の認定こども園整備
- 子育て支援センター利用者減
- 学童保育の指導員確保
- 子育ての新たな担い手確保

方向性（後期基本計画）

総合計画審議会やよさのみらい会議での対話や議論

↓

必要に応じて施策展開を見直す

取組事例｜キッズステーション事業

背景

◆児童生徒数の減少

H27 1,918人 → R2 1,584人 ➡ **18%減**

◆地域コミュニティの弱体化

子どもたちのより良い育ち合いの環境を構築する観点から
小学校の再編（集約化）を進めた

H18(合併時) 9小学校区 → R3 6小学校区

（→ R10までに 3小学校区に統合される予定）

➡ **地域コミュニティの弱体化**を懸念

◆求められる子どもたちの居場所づくり

小学校の集約化で課題が顕在化

➡ 保護者の声 **「近くに安全な遊び場がない」**

目的・趣旨

① 地域における遊び・学習・交流活動など、児童が自由に利用できる安全・安心な居場所づくり
② 空家など多様な地域資源の活用
③ NPO・地域住民等の連携協力

➡ **地域と行政が一体**となった
子育て支援策の拡充・推進

補助対象・補助対象事業

次の事業を実施する団体に対し補助金を交付
（限度額：**60万円**/箇所）

① 子どもの居場所づくり事業
② 子どもの遊び場・学習の場づくり事業
③ 子どもの自主性、社会性及び創造性の向上に資する事業
④ 子ども同士の交流を促進する事業
⑤ 子どもと地域住民との交流を促進する事業

成果

① 子育て支援の新たな担い手の創出（地域ぐるみの子どもの居場所づくり）
② 放課後・長期休暇期間における子ども同士の新たな交流機会の創出
③ 子どもと地域住民等、多世代間交流の促進（子育てを通じた地域活性化）
④ 公民館・空家等、地域資源の有効活用（地域活性化、防犯面強化）

継続して取り組んでいきたい（区長）

取組事例｜キッズステーション事業

岩屋キッズステーション

実施主体：岩屋区
実施期間：学校長期休暇期間
利用実績：延べ93人
内　　容：出入り自由な緩やかな学童保育事業を展開（宿題、読書、遊び等）



地区内の織物事業者の企画によるクルミボタン作り





公民館で遊んだり学習したりする子どもたち

友だちと出会うことができて楽しい（児童）

今年は学童に落ちてしまったのでとても助かりました。何より子どもたちが毎日楽しく過ごせて良かったです（保護者）

後野キッズステーション

実施主体：旧後野公会堂管理組合
実施期間：毎週水曜日（15:30～17:30）
利用実績：延べ183人
内　　容：カナダ出身の方を講師に招き、楽しみながら英語に触れ合う、学びの場を展開

放課後に予定があることで、子どもは見通しを持って計画的に行動できるようになりました（保護者）



英会話教室の様子

アド・キッズステーション

実施主体：海の京都アドラー
実施期間：学校長期休暇期間
利用実績：延べ58人
内　　容：食と木育を中心に自然体験を織り交ぜた発見や学び、遊びの場を展開



川遊びをする子どもたち



アド・キッズステーションの拠点

本日のテーマ

地域のつながりで子育てを応援する

対話①


分野４
つながりで笑顔を未来につむぐまち【出産と子育て】
新たな命の誕生を応援
・母子の健康づくりの推進
・妊娠・出産から乳幼児期の不安や負担を軽減する体制の充実
親子の笑顔の暮らしを応援
・多様なニーズに応じた幼児教育・保育サービス（学童保育含む）の充実
・子ども・家庭に応じた支援と連携の強化
・子育て世代の交流の促進
地域ぐるみの子育て力の向上
・地域ぐるみで育む意識の向上
・幅広い世代交流による子どもの育成
・子育て支援・見守り活動の推進
・子どもが安心・安全に過ごせる場の拡充
・子育てと仕事の両立に対する職場の理解の促進
親と子の学び・育ちの場づくり
・妊娠・出産・子育てに関する学習の機会の創出、知識の普及及び啓発
・食育の推進
・次世代の親の育成
切れ目ないサポート
孤立
施策
サービスの周知
(行政、民間)
行政と民間が一緒に
子育て情報
悩み相談できるつながり
情報が少ない(ない)
保育現場
教育現場の先生が大変
夫婦の勉強会
住民・民間の声がカタチになりやすい
スマホで簡単に入手
特性が生かせる環境
おじさん・おばさん、他人にかわいがってもらえる環境
連絡先相談先がすぐ分かる
フリースクールなど伸びてできる場
社会や時代に合わせて新しいこと!
ニーズ
声を届ける場
民間が関われる場が必要!
課題（前期基本計画策定時）
未婚・晩婚・離婚増加傾向
子育て家庭と地域のつながりの希薄化
孤立する子育て家庭増加
働き方に応じた子育て環境を求める声への対応
新たな課題
父親の育児休業取得率低い
野田川地域の認定こども園整備
子育て支援センター利用者減
学童保育の指導員確保
子育ての新たな担い手確保

対話②

テーマ　地域のつながりで子育てを応援する

与謝野町での子育て

“おすすめできる”こと

“足りない”こと

テーマを実現するには？

テーマを実現するために与謝野町にあったらいいな、必要だなと思うこと

ソフト

ハード

作戦を考えてみよう！

わたしの役割

みんなの役割（助け合ってすること）

役場の役割

ワークショップ

ワークショップの進め方（時間配分）

1. 自己紹介【チェックイン】（15分）14:30-14:45
2. 対話① まちの子育て施策の現状（10分）14:45-15:00
3. 対話② テーマを深める（30分）15:00-15:30
4. グループ移動【気づきを得る】（5分）15:30-15:35
5. 元のグループで対話【気づきの共有】（10分）15:35-15:45
6. グループ発表（10分）15:45-15:55

今後の予定

よさのみらい会議　スケジュール

7/24 sun

知遊館 あじさいホール

テーマ

私の幸せ
まちの幸せ

参加者

- まちづくりに関心が高い人
  （まちづくり団体）

9/25 sun

知遊館 研修室

テーマ

子育て
・教育

参加者

- 子育て世代
- 子育て関連団体

10/16 sun

元気館 農事研修室

テーマ

仕事・交流
・つながり

参加者

- 若手経営者
- 関係人口
- まちづくり団体

みんなで記念撮影